

2021 夏 号

No. 114

～ 特集 ～

【河川・湖沼の水辺環境の取り組み】

・滋賀県

「家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト」の取り組みについて

・兵庫県

円山川水系自然再生計画に基づく兵庫県の取り組みについて

～トピックス～

・京都市

リバービュー（河川探検）～写真で伝える河川の魅力～

・和歌山県

県ホームページに河川整備の進捗状況を掲載しました

・大阪府

寝屋川流域総合治水対策～令和3年5月20～21日の豪雨で貯留効果を発揮～

・堺市

大和川沿川における自転車を活用したまちづくりの推進について



ページ

## 河川紹介

- 2 大和川（堺市ほか） …… ㉠

## 特集

### 『河川・湖沼の水辺環境の取り組み』

- 3 「家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト」  
の取り組みについて  
滋賀県 土木交通部 流域政策局 …… ㉡

- 5 円山川水系自然再生計画に基づく兵庫県での取り組みについて  
兵庫県 県土整備部 土木局 河川整備課 …… ㉢

## トピックス

- 7 リバービュー（河川探検）～写真で伝える河川の魅力～  
京都市 建設局 土木管理部 河川整備課 …… ㉣

- 9 県ホームページに河川整備の進捗状況を掲載しました  
和歌山県 県土整備部 河川・下水道局 河川課 …… ㉤

- 10 寝屋川流域総合治水対策  
～令和3年5月20～21日の豪雨で貯留効果を発揮～  
大阪府 都市整備部 河川室 河川整備課 …… ㉦

- 11 大和川沿川における自転車を活用した  
まちづくりの推進について  
堺市 建設局 サイクルシティ推進部 自転車環境整備課 …… ㉧

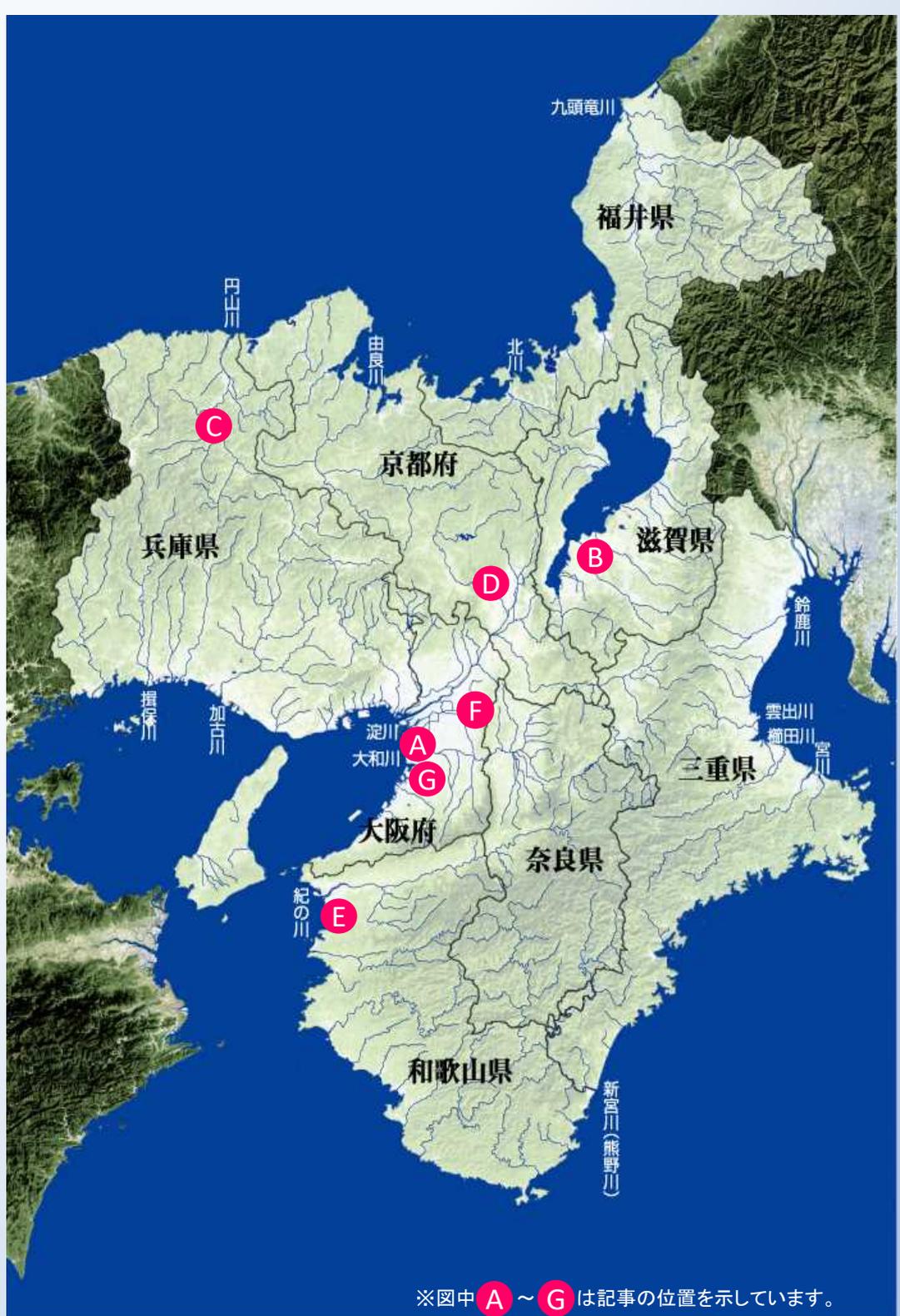
## インフォメーション

- 13 河川愛護月間  
近畿地方整備局 地域河川課

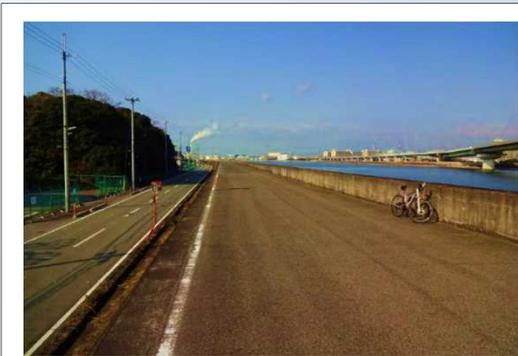


## 神輿渡御(大和川)

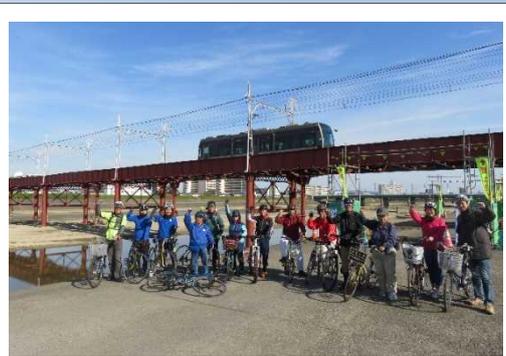
**大和川(やまとがわ)**  
 大和川は、奈良盆地から大阪湾に注ぐ、奈良県・大阪府にまたがる1,070kmの流域を持つ一級河川です。江戸時代・宝永元年(1704年)に淀川と切り離す付け替え工事が行われたことで、住吉大社の御渡りも大和川をお通りになるようになりました。表紙の写真は、住吉大神(大阪市の住吉大社)の言霊を神輿に遷し、御旅所である堺の宿院頓宮まで行列を仕立てて巡行する際、大和川の川中を勇壮に練り歩いている様子です。



※図中 A ~ G は記事の位置を示しています。



大和川が一望できます。



運がよければ堺トラムと遭遇

## ツール・ド・堺100kmコース

およそ100kmを走る達成感のあるコースで、大和川をはじめ和田川など堺市内の河川沿いも走ります。

## 「家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト」の取り組みについて (第13回淡海の川づくりフォーラムグランプリ受賞)

滋賀県 土木交通部 流域政策局

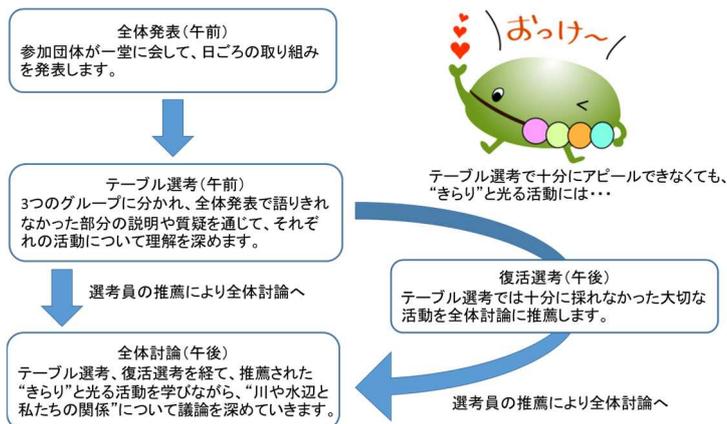
### 1. はじめに

令和3年2月7日(日)に「第13回<sup>おうみ</sup>淡海の川づくりフォーラム」(淡海の川づくりフォーラム実行委員会/滋賀県主催)がオンライン開催(サテライト会場:滋賀県危機管理センター)されました。

本誌では、第13回淡海の川づくりフォーラムでグランプリを受賞されました「家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト」の皆さんの取り組みを紹介します。

### 2. 淡海の川づくりフォーラムとは

淡海の川づくりフォーラムは、流域治水条例第34条に基づく県民相互連携の取り組みであり、川や水辺にまつわる活動を実践されている皆さんとともに、“川や琵琶湖、水辺と共生する暮らし”、“川や琵琶湖、水辺と私たちのいい関係”について議論を深める公開選考方式のワークショップです。公開選考会として受賞団体を選考しますが、選考は手段であって目的ではありません。



一番の目的は、お互いの活動の「よいとこ探し」をして、誉めあい、元気になることです。

13回目となる今回は県内外から16団体の参加があり、小学校や大学生と若い方々から、地域に根差し長年活動されている方々まで、幅広い世代から多岐にわたる取り組みを発表していただきました。



淡海の川づくりフォーラムは川と水辺を愛する人の交流の場です。

詳しくはこちら…<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/kasenkoan/19480.html>



### 3. 「家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト」の取り組みについて

- ◆ 家棟川(野洲市)で平成27年に結成された「家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト」は、市民や企業、行政、専門家等が一緒になって、ビワマスが遡上・産卵・繁殖できる環境を整備するために、①ビワマス産卵床の造成、②落差工への仮設魚道の設置、③遡上調査と監視、の3つの活動を実施してきました。
- ◆ 活動の結果、ビワマスの産卵が確認され、平成30年度には仮設魚道を遡上するなど大きな成果を上げることができました。また、ビワマスの遡上状況の確認とともに違法な採捕の監視も行ってきました。

ビワマス…琵琶湖固有種。成魚の全長は約40～50cm。秋に川で産卵し、孵化した稚魚は春に琵琶湖へ下り、3～4年後に再び産まれた川に戻ってきて産卵する。



# 目的

秋期に琵琶湖から遡上する**ビワマス**を家棟川のシンボルとし、**ビワマスが遡上、産卵、繁殖できる環境を整える**ことなどを通じて、家棟川およびその支流河川の自然環境を再生し、ひいては野洲市のまちづくりや活性化につなげていきます。平成27年8月に結成されました。

# 場所



野洲市域を流れる家棟川の上流～下流で活動を行っています。これまで23種類の在来魚が確認されていて、これは県内河川屈指です。

# メンバー

## 市民

高波乙自治会農地水環境保全委員  
中ノ池・童子川生態調査委員  
地元自治会関係者  
祇王まちづくり推進協議会  
童子川・家棟川河川愛護会  
野洲市里川づくり委員会  
NPO家棟川流域観光船

## 企業等

TOTO株式会社  
滋賀県立大学(学生)  
立命館大学(学生)

## 行政

野洲市環境課  
滋賀県琵琶湖保全再生課  
滋賀県南土木事務所

## 専門家

滋賀県水産課  
滋賀県水産試験場  
琵琶湖環境科学研究センター

(外部協力者)  
徳島大学 浜野教授  
兵庫県立大学 三橋講師  
滋賀県立大学 瀧井教授

市民、企業、専門家、行政、学生等が協働し、それぞれにしかできない役割を果たしながら検討を進めています。地元などの協力を得ながら活動しており、さらに仲間を増やしながら活動を展開していきたいと考えています。

# 活動

ビワマスが遡上、産卵、繁殖できる環境の再生に向けて、これまで主に3つの活動を実施してきました。ビワマスの稚魚が初めて発見されたり、設置した仮設魚道を遡上するなど、すでに多くの成果が得られています。

## 活動①：産卵床の造成

河床に礫を入れ、ビワマスが産卵できる環境を整えました。すると、遡上してきたビワマスが産卵床を使う姿が何度も目撃され、春にはその周辺で多くの稚魚を確認しました！



ビワマスが産卵行動！



活動開始以降、毎年稚魚を発見！

## 活動②：仮設魚道の設置

家棟川の支流、中ノ池川にある高低差3.2mの落差工がビワマスの遡上を阻害していることから、試行錯誤しながら仮設魚道の設置に取り組み、平成30年度にはついにビワマスが遡上しました！



念願のビワマスが遡上！

鋼製仮設魚道の設置！

## 活動③：調査と監視

ビワマスの遡上状況を確認するとともに、違法な採捕の監視を行いました。降雨とともに遡上するビワマスの特性が明らかになりました。

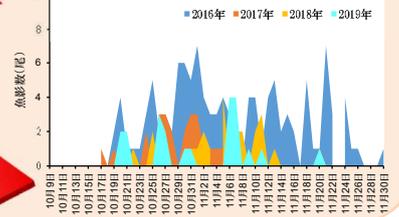
毎日の遡上調査・監視



調査票の記録



ビワマス遡上状況が明らかに！



## -2020年度の軌跡(奇跡)-



過去最高のビワマス遡上数

仮設魚道上流側での産卵可能性



密漁ゼロ(夜間パトロール・地域住民等の協力)

浚渫工事の事前連絡



母なる湖・琵琶湖。

—あずかっているのは、滋賀県です。

# 『河川・湖沼の水辺環境の取り組み』

## 円山川水系自然再生計画に基づく兵庫県の取り組みについて

兵庫県県土整備部土木局河川整備課

原 大和

### 1. はじめに

円山川は、兵庫県朝来市生野町円山を源流とし、豊岡盆地を流下し、出石川、八代川、六方川等の98支川と合流し、日本海に注ぐ幹線流路延長約67km、流域面積約1300km<sup>2</sup>の一級河川です。特に、県管理河川の出石川の河床勾配は、他の河川に比べ緩やかであり、貴重な生物も多く、平成17年から野生復帰に向けた放鳥が開始されたコウノトリの生息場にもなっています。また、出石川流域のうち、県管理区間の上流部では、国の特別天然記念物に指定されているオオサンショウウオも生息するなど自然豊かな環境にあります。一方で、落差工や井堰など多数の横断工作物による水生生物の遡上・降河の改善が課題となっていました



### 2. 事業の紹介

上記のことを背景として、県では、近畿地方整備局と共同でコウノトリと人が共生する環境を目指して、平成17年に円山川水系自然再生整備計画を策定しました。具体的整備目標としては、①特徴的な自然環境の保全・再生・創出、②湿地環境の再生・創出、③水生生物の生態を考慮した河川の連続性の確保、④人と河川との関わりの保全・再生・創出です。県では、平成17年の計画策定後、鎌谷川での多自然護岸整備や六方川での湿地再生などに取り組んできましたが、今回は平成28年から馬路川等<sup>まじがわ</sup>で実施してきた河川の連続性確保の取り組みについて紹介します。既存の井堰や落差工等の存在により水面落差が生じており、魚類や甲殻類の移動障害が発生し、河川の連続性に影響を与えていました。前述の出石川流域では、魚類・甲殻類のほか特別天然記念物のオオサンショウウオが生息しており、その移動にも影響を与えていました。

[改修前]



落差

[改修後]



取外し可能な堰板

魚の通り道

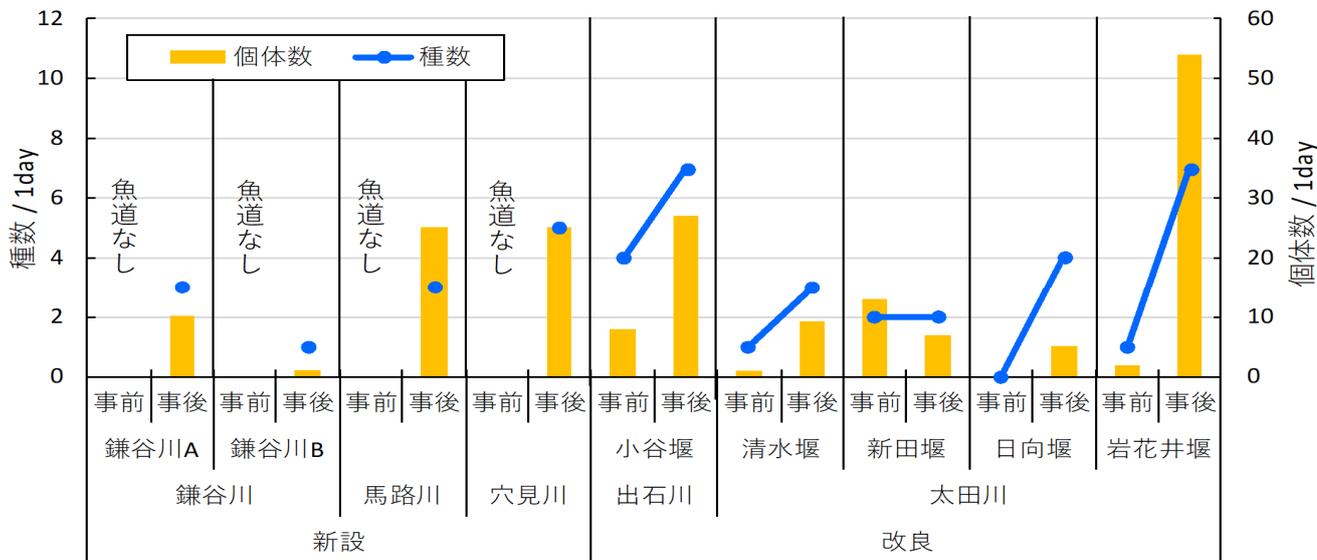
プール部 (深み)

自然石を用いて目地を深くし、生物の生息・生育空間を創出。

井堰の落差を2分割。また、堰板を取外せる構造として落差を小さくし、上下流の連続性を確保。

### 馬路川の多自然川づくり

そのため、河川の連続性確保を目的に平成28年度から令和2年度にかけて魚道の新設や、既存魚道の改良整備を実施しました。主な箇所としては、馬路川、穴見川、鎌谷川は魚道の新設し、太田川の清水堰、新田堰、日向堰、岩花井堰、出石川の岩花井堰では魚道改良を行いました。



図一 1 整備前後における魚類および甲殻類の魚道利用状況

整備に際しては、事前・事後のモニタリング調査を合わせて実施しました。その結果、図一1に示したとおり多くの川や堰で整備後、魚類および甲殻類の魚道の利用状況の改善に繋がっていることが分かりました。新設した魚道では、魚類の遡上が確認され、改良を行った場所では、遡上する個体数、種数が増加しています。ある堰では、越流流速は整備前に91cm/sであったものが、整備後には64cm/sに減少、また、魚道内の粗石付き斜路の設置により、魚類、甲殻類、オオサンショウウオが遡上しやすい環境になりました。さらに、太田川に位置する4つの堰では、ナマズやカワヨシノボリ等の底生魚の遡上が増加しました。底生魚が隔壁を超えやすい環境となり、河川の連続性を確保することができました。



魚道を利用した遡上の様子

### 3. さいごに

今回、貴重な生態系を残す円山川水系での自然再生の取り組みを紹介しました。兵庫県では、「ひょうご・人と自然の川づくり」基本理念・基本方針に基づき、「治水・利水」「生態系」「水文化・景観」「親水」を四つの柱とし、「人と自然が共生する川づくり」を進めています。防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策予算等を活用した事前防災対策の推進にあたって、「基本理念・基本方針」に基づき、全ての工事において、河川の環境に配慮した整備を行って参ります。

## リバービュー（河川探検）～写真で伝える河川の魅力～

京都市建設局土木管理部河川整備課

### 1 はじめに

京都市内を流れる河川の中には、山間部を流れる自然豊かな河川や、市街地を流れ、周囲の街並みと一体となって風情を醸す河川などがあり、特に桜や紅葉の季節には、観光客で賑わう場所がいくつもあります。

河川の風景といえば、川沿いや、川に架かる橋から、もしくは少し離れた遠くの建物から見える風景等があり、それらをカメラやスマートフォンに収める人も多いかと思います。

### 2 新たな取り組みとして

今回、京都市では、普段から親しまれている河川の新たな魅力を発信する取組として、リバービュー（河川探検）というホームページを公開しました。これは、川の中で撮影した連続写真により、川の中を歩いているような体験ができるものです。

普段は見ることのできない川の中から見える景色には、水が流れている姿だけではなく、自然環境や景観に配慮した材料をうまく使った石積護岸の構造など、土木施設としての川の魅力がたくさん詰まっており、これまで土木施設に興味なかった人に対しても、川の景色を通じて、土木の魅力伝えるきっかけにできればと考えています。

### 3 今後について

現在、リバービューの第1段として、令和3年4月の桜の時期に撮影した、一級河川七瀬川や普通河川高瀬川等のリバービューをホームページに公開しており、今後も引き続き、新緑や紅葉の季節に応じた魅力ある風景を撮影し、リバービューとしてホームページに公開する予定です。

リバービューという新しい河川のPRにより、少しでも多くの方が土木に興味を持っていただけるよう、取り組んで参ります。

PDFファイルとして閲覧でき、川の中を歩いているような体験ができます。



京都市建設局  
イメージキャラクター  
「けんくん」



ホームページ閲覧のイメージ

#### 4 ホームページ

「京都市 河川整備課 リバービュー」で検索してください。

URL:<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000282994.html>

京都市情報館  
Kyoto City Official Website

現在位置: [トップページ](#) [まちづくり](#) [道路・河川](#) [水辺環境整備](#) [リバービュー \(河川探検\)](#)

リバービュー (河川探検)

ページ番号282994 [ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます](#) [ツイート](#) [シェア](#) 2021年4月15日

リバービュー (河川探検)

京都市内の美しい河川の景色をお楽しみください  
画像をクリックすると、河川の中を探検できます。

※この写真は、京都市職員が川の中を歩いて撮影したものです。危険ですので、一般の方は河川内に入らないでください。

七瀬川

七瀬川(上流→下流) 七瀬川(下流→上流)

第二疏水分線

第二疏水分線(上流→下流) 第二疏水分線(下流→上流)

西芳寺川

京都市建設局  
イメージキャラクター  
「せっちゃん」



リバービューのホームページです。  
スマートフォンでQRコードから  
アクセスできます。



QRコード

## ～県ホームページに河川整備の進捗状況を掲載しました～

和歌山県 県土整備部 河川・下水道局 河川課

本県では、県民のみなさまへの分かりやすい情報発信を目的とし、令和3年3月、図や写真を用いて「河川整備の進捗状況が見える化」したホームページを作成しました。

ホームページでは、治水安全度の向上等を目的に県策定の河川整備計画に位置づけた全ての河川において進捗状況を掲載するなど、内容の充実を図っています。



〔 二級河川 日高川水系西川 〕

今後も、より分かりやすい情報発信となるよう進捗状況の更新を行い、県民のみなさまに安心していただけるような情報提供に努めていきます。



和歌山県河川課ホームページの  
トップページよりアクセスできます！  
(●河川の整備→●河川整備の進捗状況)

和歌山県河川課ホームページ

- 水位・雨量情報
- 防災情報
- 流域治水
- 和歌山県の河川
- 河川の計画
- 河川の整備
- 河川の管理
- その他
- リンク

河川の整備

- 河川整備の進捗状況 ←「河川整備の進捗状況」をクリック
- 緊急浚渫推進事業債における浚渫発生土砂情報について
- 平成23年台風12号関連

<URL: <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/080400/d00207012.html>>

# 寝屋川流域総合治水対策 ～令和3年5月20～21日の豪雨で貯留効果を発揮～

大阪府 都市整備部 河川室 河川整備課

## 地下河川の整備を推進

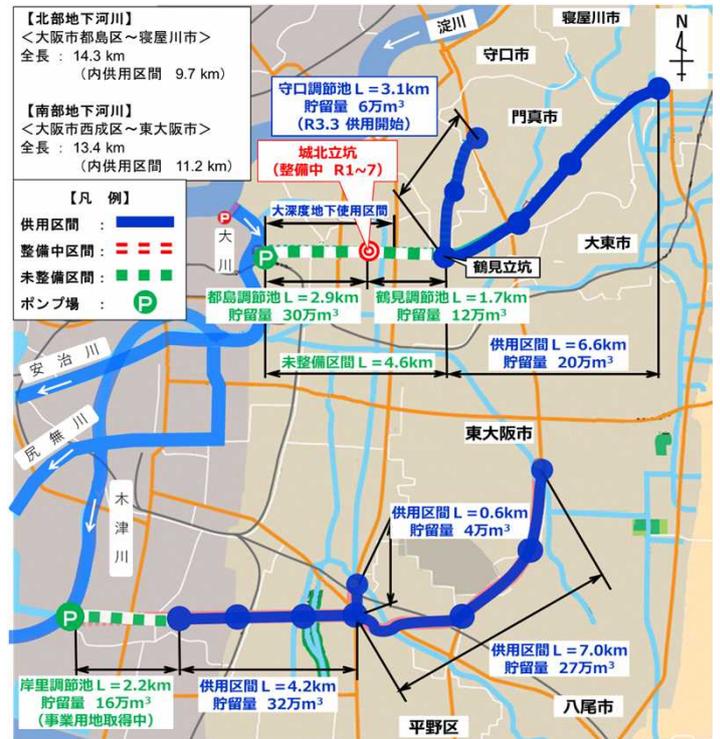
- 寝屋川流域では、河川、下水道等が一体となった総合治水対策を実施しており、遊水地、地下河川、流域調節池、下水道増補幹線等の貯留施設の整備を推進しています。
- 地下河川は、完成した区間から貯留施設として暫定的に運用しています。  
(北部地下河川：26万m<sup>3</sup>、南部地下河川：63万m<sup>3</sup>)
- また、鶴見調節池から下流区間は、河川事業として初めて地下約70mの大深度地下を使用する事例となります。
- 令和3年3月30日に、北部地下河川守口調節池が供用開始となり、貯留容量6万m<sup>3</sup>を確保しました。



守口調節池（下水道接続部）

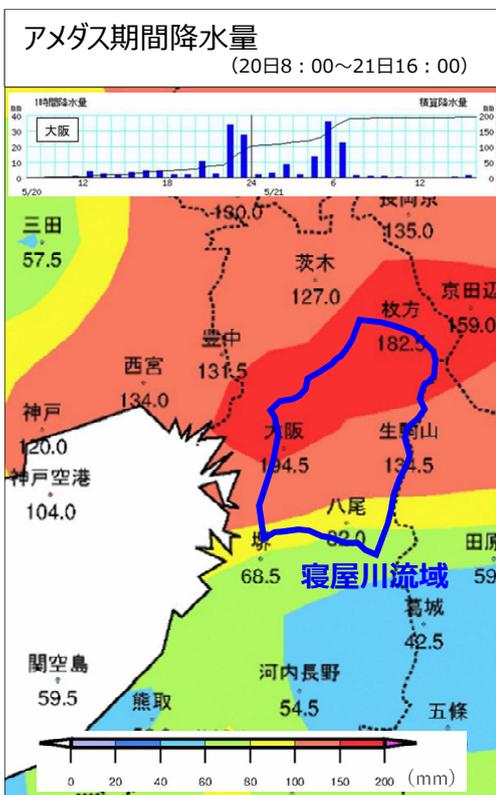


城北立坑（整備中）



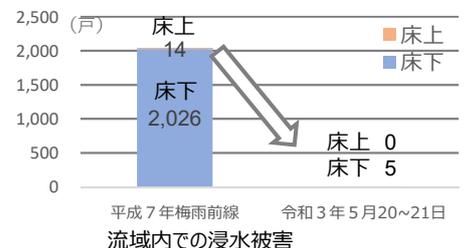
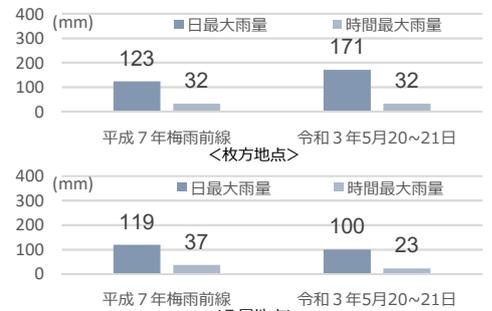
寝屋川地下河川整備状況 (R3.6時点)

## 令和3年5月20～21日の豪雨で貯留効果を発揮



(出典) 大阪管区気象台  
「令和3年5月20日から21日の梅雨前線や低気圧による大雨について」

- 令和3年5月20日から21日にかけて、寝屋川流域北部などで総雨量200mm程度、時間雨量で30mm程度の降雨が観測されました。
- この降雨では、北部地下河川が満杯となるなど、平成30年7月の西日本豪雨の際の貯留量（63.8万m<sup>3</sup>）を上回る約150万m<sup>3</sup>を貯留しました。
- 平成7年の同規模の降雨では、2千戸以上の浸水被害が発生しましたが、治水施設の整備効果が発揮され、浸水被害の軽減に寄与しました。



## 大和川沿川における自転車を活用したまちづくりの推進について

堺市 建設局 サイクルシティ推進部  
自転車環境整備課 青山 利彦

### 1. はじめに

本市の歴史的な背景として、古墳時代には、古墳築造にあたり鉄製品を加工する技術者集団がここ堺の地に集まりました。戦国時代に入り、種子島に鉄砲が伝わると堺の商人はいち早くその製造技術を学び、鉄砲を部品化し、量産化を図りました。明治初期には、自転車がヨーロッパから伝わると、鍛冶職人が自転車の修理を行うようになりました。第1次世界大戦を契機に、外国からの自転車輸入がストップし、自転車の国産化が始まりました。堺はこれらの鍛冶職人達により自転車産業のまちへと発展していきました。

これら自転車発展の歴史が分かる資料や自転車は、本市の大仙公園横にある公益財団法人シマノ・サイクル開発センターが運営する日本で唯一の自転車博物館に展示されています。また、日本最大級の自転車レースであるツアー・オブ・ジャパンの堺ステージ（第1ステージ）は、毎年5月の休日に開催され、国内外の選手が集まる一大イベントになっているなど、自転車との関わりは大変深いものとなっています。

本市の自転車施策においても、平成25年6月に自転車まちづくりを進めていくうえで、基本となる「つかう（利用促進）」、「まもる（安全利用）」、「とめる（駐輪環境）」、「はしる（通行環境）」の4つの要素を柱とした「堺市自転車利用環境計画」を策定するとともに、平成31年以降に、重点的に取り組む項目を特筆した「追補版－重点アクションプラン」をとりまとめ、「自転車を利用しやすいまち」に向けた取り組みを進めています。

### 2. 大和川沿川の取り組み

本市の北端部に位置し、北側を大阪市に接する1級河川大和川は、江戸時代の付け替え工事により形成され、戦後、住宅や工場の進出による都市化が進み、護岸整備、高水敷整備が進められました。昭和40年代をピークとした水質悪化により、かわと人々のつながりが弱まりましたが、その後の水質改善と利用ニーズの高まりを背景に、都市部における貴重な自然空間、オープンスペースとして、河川利用者に身近なものになっています。

現在の大和川左岸では、堤防上の河川管理用通路や堤防沿いの大和川公園、浅香山公園等において、多くの市民や来訪者により、散策やジョギング、子どもの遊び場、軽スポーツ場として利用されています。また、春には、浅香山つつじまつり、大和川水辺の楽校まつり等が開催され、賑わいを見せています。

しかし、現在河川敷周辺は用地上の制約から休憩施設も少なく、上下流方向の動線は、幹線道路、流入支川等で分断されている箇所もあるため、利用者が安全・快適に利用することができず、短区間での利用に留まっています。

一方、沿川では、阪神高速道路大和川線や高規格堤防整備事業により、新たに広大な未利用地が生み出されたことから、その有効的な活用方法が求められていました。

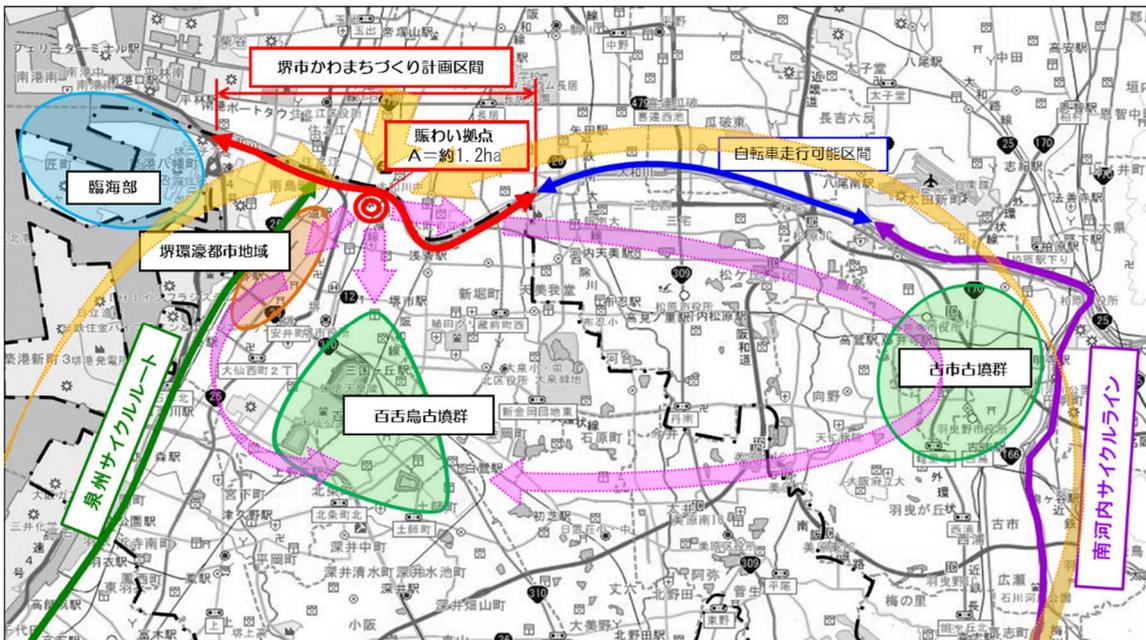
この都心部における水と緑が同時に感じられる貴重な空間を活かし、かつ、連続した通行環境や賑わいの創出など、自転車を楽しめる環境空間の形成を図るために、河川管理者

である国土交通省と協議を重ね、国と市が連携を密にして事業を進めることができる「かわまちづくり支援制度」を活用し、平成31年3月に「堺市かわまちづくり計画」の登録を受けるに至りました。

これにより、国において大和川の上流を結ぶ河川管理用通路等の整備や本市による堤防上の自転車と歩行者との構造分離・誘導表示などの通行空間の整備など、各々が役割分担のもと事業を進めることにより、大和川の堤防や高水敷等を活用し連続した通行環境が形成され、広域的にも泉州サイクルルートや南河内サイクルライン、堺臨海部を結ぶ周遊ルートの形成が可能となります。

また、本市では、この広域的な周遊ルートの結節部となる阪堺線大和川停留場付近の未利用地を活用し、安全な自転車利用の促進と自転車利用者の裾野拡大を目的として、サイクリングの発進・中継や休憩などのサイクルサポート機能の充実や体験型自転車教育機能を有した賑わい創出施設の一体的な整備について、民間等事業者と連携した事業手法を検討していきます。

これらのハード整備と「散走」「ロングライド」等の沿川全体を活用したサイクリングやウォーキングなどの集客性の高いイベントの開催などのソフト事業を合わせて進めていくことで、更なる大和川の魅力発信に繋がっていくものと考えております。



### 3. おわりに

本大和川沿川における整備をハードとソフトの両軸で進めることで、快適なサイクリング環境が形成されるなど、未広がりにも効果が広がっていく未来発展型の事業であると考えております。

今後も引き続き「まちと水辺が一体となった魅力ある環境づくりの創出」に向けて、国と連携強化のうえ、事業推進に努めて参ります。

**7/7は川の日です**

今年もまた川に行ってきたよ  
いつもの景色に ほっこりにこり

せせらぎに ほくも魚も すきとおる

## 河川愛護月間

7月1日～7月31日

“絵手紙”募集中!!

詳しくは  
<http://www.mlit.go.jp/river/aigo/index.html>

令和3年10月15日(金)必着

今すぐアクセス

7月1日～7日は河川水難事故防止週間  
《川の防災情報》<http://www.river.go.jp>  
《気象庁天気予報》「市外局番」+「177」

## ●ピックアップ●

### 河川愛護月間

7月1日～7月31日

### 川の日

7月7日

### “絵手紙”募集中!!

<http://www.mlit.go.jp/river/aigo/index.html>

「4. 河川愛護月間

絵手紙募集要項」



### 河川水難事故防止週間

7月1日～7日

### 川の防災情報

<http://www.river.go.jp>

### 気象庁天気予報

「市外局番」+「177」



## ■編集後記

投稿していただいた各府県と各政令市のご担当者様におかれましては、お忙しい中、ご協力いただきありがとうございます。紙面をお借りしまして御礼を申し上げます。

今後も「さらさ」を情報共有・情報発信の場として、さらに活用していただければと思います。

編集担当：堺市 建設局 土木部 河川水路課 村本

編集・発刊：三重県、福井県、滋賀県、京都府、京都市、大阪府、大阪市、堺市、兵庫県、神戸市  
奈良県、和歌山県、国土交通省近畿地方整備局